

診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第18号／平成30年6月

URL <https://www.n-smeca.jp/>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

中小企業の振興と当協会の活力ある組織づくり に向けて

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 土田 正憲



このたび一般社団法人新潟県中小企業診断士協会の会長を拝命いたしました土田正憲です。

当協会は、一般社団法人になって7年、前身である中小企業診断協会新潟県支部の設立からは58年を迎えます。この間、国の中小企業政策は社会経済情勢に応じて変遷を遂げ、それとともに中小企業診断士の役割も「公的診断を担当する者」の位置づけから「民間経営コンサルタント」として中小企業・小規模事業者の持続的な成長・発展を支援することと大きく変わりました。中小企業診断士は、中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家です。成長戦略の策定やその実行のためのアドバイスを行うとともに、中小企業と行政・金融機関等をつなぐパイプ役、また、中小企業施策の適切な活用支援等を行います。このような担いを再認識し、当協会は今年度、次の事業計画に沿って活動していきます。

○ 基本方針

会員が互いに切磋琢磨してコンサルティング能力の向上に努め、自治体や中小企業支援機関、金融機関等と連携して中小企業の振興に邁進し、充実した「中小企業診断士ライフ」を送れる魅力ある組織を目指します。

○ 事業計画

(1) 交流事業

青年部活動の強化により入会間もない会員の参加を促します。また、研究会の活発な活動と立ち上げの促進に向け、その運営方法の見直しに取り組みます。

(2) 研修事業

理論政策更新研修、経営診断実務実習及び秋季セミナーの実施により、会員のコンサルティング能力の向上を図ります。また、中小企業診断士受験講座の実施とその内容の充実に取り組みます。

(3) 広報事業

会報「スープレター」等により協会活動に関する情報を広く発信します。また、「中小企業診断士の日」に関わるイベントを開催し、中小企業診断士並びに新潟県協会の認知度向上を図ります。

(4) 業務受託事業

受託業務の円滑な運営に取り組みます。また、外部の諸機関等との連携を強化します。

(5) その他

平成30年度北関東信越地区ブロック会議を開催します。

新体制は緒に就いたばかりですが、中小企業の振興と当協会の活力ある組織づくりに向けて着実に歩みを進めています。

今後ともよろしく願い申し上げます。

新理事紹介

副会長

野水 敏勝



この度、引き続き副会長職を拝命した野水敏勝です。土田新会長から「渉外」と「その他特命事項」の補佐のご指示をいただきました。微力ながら当協会の発展のため尽力したいと思います。

新会長が掲げた今年度の基本方針として、会員が互いに切磋琢磨してコンサルティング能力の向上に努め、自治体をはじめ中小企業支援機関や金融機関等と連携して県内の中小企業の振興に寄与し、充実した「診断士生活」を送れる魅力ある組織をめざします。具体的には、

- (1) 会員の協会活動の参加促進
- (2) 会員のコンサルティング能力の向上
- (3) 外部機関・他団体との連携強化
- (4) 中小企業診断士並びに新潟県協会の認知度の向上
- (5) 財務基盤の強化

が挙げられております。

具体的な事業計画は省略させていただきますが、企業内診断士であれ独立診断士であれ、当協会に所属しているものとして、この基本方針に沿って委員会や研修会に積極的に参加し、自らのスキルアップに努めると共に会員同士のコミュニケーションの強化や親睦を図りたいですね。どうぞよろしく願いいたします。

(私の趣味)

いつもワンパターンなのですが、登山、ハイキングを楽しんでいます。最近は歩くのが遅くなって仲間に迷惑をかけているのですが、幸いなことに同行してくれています。感謝です。山歩き好きな方は一声かけてください。

副会長

渡辺 芳久



この度、引き続き副会長職を拝命しました渡辺芳久です。商社、専門学校勤務を経て、平成27年4月に経営コンサルタントとして独立し4年目に入りました。当協会においては、事業開発委員

会のメンバーとして県内金融機関の勉強会への講師派遣を担当してきました。

新潟県中小企業診断士協会が一般社団法人として新たに発足をしてから7年目を迎えましたが、この間先輩役員を始め、会員の皆様のご努力により大きく成長してまいりました。今後も当協会が発展していくためには、今まで以上の基盤固めがまだまだ必要であると思っております。

当協会の会員数は昨年度末で90名を超え、100名にも届きそうな勢いです。若い人の会員も増え、企業内診断士も多くおり、それぞれが多様な立場で活躍されております。このような優秀な人たちで構成された組織が一つになり、会員が一致団結して地域社会に貢献し、今まで以上に当協会並びに中小企業診断士資格が認知され、期待されるような組織になればと考えております。

これからも、諸先輩が行ってきたことを学びながら、時代に合った新しい取り組みを行っていかねばならないと思っております。それには今まで以上に会員同士の絆を深め、一緒になって会員サービスの向上や収益事業を推し進めていくための組織作りが必要になってくると思っております。

微力ではありますが、そのような組織作りを心掛け、土田正憲会長を補佐しつつ、地道な努力を積み重ねていきたいと思っておりますので、今まで同様、皆様のご協力をよろしく願いいたします。

専務理事

近藤 信

このたび専務理事を拝命した近藤 信です。中村体制4年間に引き続きとなります。何卒よろしくお願いたします。

この4年間の実績を組織の未来予想図に融合させ、さらなる会員本位かつ社会的存在意義のある協会をつくりあげるべく職務を全うする所存です。

私は平成13年4月、28歳の時に本協会に入会しました。社会人になり、はじめて勤務先以外に先輩と呼べる方々がいる組織でした。仕事の紹介、人脈の紹介等々・・・数々の先輩方にお世話になりここまで診断士としてやってこれました。独立の際に一番心強く感じたのも診断士協会の諸先輩方の支援でした。

私が先輩にいただいた恩は、私が診断士協会における役割を全うすることで後輩に返さなければならぬと自覚しています。

土田正憲会長がかかげる、「会員が互いに切磋琢磨してコンサルティング能力の向上に努め、自治体や中小企業支援機関、金融機関等と連携して中小企業の振興に邁進し、充実した中小企業診断士ライフを送れる魅力ある組織」を作り上げることが私の役割です。

本協会はもうすぐ会員数100人を超える大所帯となります。いまや会員のニーズも多種多様なものがあります。その多様性に対応するには、従来の組織運営をさらに進化させ、会員相互の緊密な連携が不可欠となります。

会員の皆様、関係機関の皆様、今後も診断士協会をご支援のほど何卒よろしくお願いたします。

事務局長

土田 克則



平成30年度、31年度の2年間、事務局長を務めることになりました土田克則です。まだ、誤解をしている人もいるかもしれないので、記載しておきますが、会長の土田正憲先生とは親戚ではありません。少し前に事務局長をしておりましたので、再登板となります。

さて、事務局長としての抱負を述べるべきか、とも考えましたが、基本的には裏方の仕事になるので、あまりしゃしゃり出るのもどうかと思い、普通に自己紹介だけすることにします。

私の実家は卸売業と子会社の小売業の会社を営んでいたのですが、父親が病気になったことと、兄が「継ぎたくない」と言い出したことが原因で、後継者問題が起こり、27歳で私が会社を継ぎました。10年くらい社長業を経験した後、中小企業診断士の資格を取得しました。実は、診断士の資格を取ったころから、事業譲渡を視野に入れていたので、私にすれば、多角化の選択肢の一つが中小企業診断士だったのです。

子会社の小売業の会社は5年ほど前に従業員に事業承継することができました。そして、ついに、昨年11月に親会社の方の事業も譲渡することができました。(親会社は、他の事業もあったので会社は残しました。) 家業を継いで、しばらくは一生懸命やっていたのですが、ビジネスモデルを理解してくると自分のやりたいことと違いすぎることに気づいてしまったのです。事業譲渡が終了したので、やっと自分の好きなことに集中して仕事ができる環境が整いました。これからは中小企業診断士としての仕事に邁進していきますので、皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

念のため、書き足しておきますが、再生型の事業譲渡ではなく、業績が好いうちに譲渡しております。誤解のないようお願いたします。

総務委員会

担当理事

委員長 岡田 正博

今年度、総務委員長になりました、岡田です。総務委員をやって5年目なので、もうそろそろここに書くこともなくなって、弱りました。もしかして去年のものをそのままコピーしてもバレないんじゃないかと思い、期待と罪悪感を胸に抱きながら昨年自分が書いた文章を見たら、最初の4分の1だけ総務委員会の話をして、残り4分の3は全然違う話をしていました。思わず「こいつ、使えねえ」と思いましたね。

さて、総務と言えばマンガ「総務部総務課山口六平太」のおかげで今ではすっかり人気の部署になってしまいました。実際中小企業では経営企画の役割を総務が担っていたりしますし、総務の仕事をしていれば自然といろいろなことに精通していきます。診断士協会も、一般の営利法人ほどではありませんが総務の仕事はおもしろいです。とはいえ本業がおろそかになるほどの業務量があるわけでもなく、ちょうどいい感じです。

しかし、昨今、連載マンガがちょっと人気が出ればすぐ実写化するという悪い傾向がありますが、あの「3丁目の夕日」が実写化したにも関わらず「山口六平太」が約30年の連載を続けたのに実写化しなかったのは、不思議な話です。「釣りバカ日誌」なんて、原作はほとんど釣りなんかせず社内政治の話だったりしますから、決して内容がふさわしくないというわけでもないのに。あそこまで個性的なキャラクターだと適当な俳優もいないんでしょうね。いやしかし、過去にはブラックジャックやゴルゴ13の実写、近年は、ハットリくん、怪物くん、バカボン、ハクション大魔王、あしたのジョー、一休さんなどの実写化という脳が溶けたんじゃないかという実写作品が登場しているのを見ると、俳優なんてどうでもいいしなあ、とも思うんですよね。ということで、なんとか紙面が埋まりました。

総務委員会

担当理事

樋口 圭治



新潟県中小企業診断士協会の皆様、お世話様です。

早いもので、私が診断士協会に入会してから9年が経過しました。もう来年あたりに2回目の診断士資格の更新があると思うと、時の流れの早さを実感

します。と同時に、自分の成長速度の遅さをも実感する次第であります。

せっかくの機会ですので、最近のマイブームを紹介したいと思います。私の最近の一番の時間潰しは、「ナンプレ」です。ご存知の方も多いかと思いますが、9列9行に並んだ81個のマス目に、だぶらないよう数字を埋めていくパズルです。最近はこの「ナンプレ」本を必ず携帯し、時間があるとペンを持って問題を解いています。なかなか頭脳の刺激になっています。

今年度の土田正憲会長体制では、総務委員会担当理事を承りました。委員長である岡田正博先生をフォローし、円滑な委員会運営の力になりたいと考えています。

中小企業診断士として活動する以前は、NSG新潟総合学院グループや五木ひろし事務所等で、総務経理部門の業務に携わっていました。新潟県中小企業診断士協会で総務委員会は初めての経験ですが、多少なりともこれまでの経験が生かせればと考えています。

診断士協会に入会して9年ですが、入会当初から土田正憲会長には大変お世話になってきました。この度総務委員会担当理事を拝命しましたが、この職務を全うし、新潟県中小企業診断士協会の更なる発展に貢献することで、土田会長に恩返しができるかと、考えています。誠心誠意、頑張りたいと思いますので、皆様どうぞよろしく願います。

研修委員会

担当理事

委員長 田村 博康



【自己紹介】

清酒製造メーカーに勤務しております。製造、営業（店舗運営アドバイス）を経験し、現在は、研究開発部にて、基礎研究・商品開発（市場調査、コンセプト立案、試作、生産設備導入など）に従事しております。趣味は、釣りと読書です。

【委員会方針】

1. 中小企業診断士の継続的学習機会の創出

会員の皆様の学習機会の創出として、秋セミナーの計画及び実施を行ってまいります。

2. 企業内診断士の活性化

主に企業内診断士の皆様を対象に、実務診断実習（経営診断実務）を計画し実施します。

3. 更新研修の企画運営

平成30年度も理論政策更新研修を計画し実施します。会員の皆様に新たな気付きをご提供できればと考えております。

4. その他

中小企業診断士受験講座の運営を引き続き行っていきます。過去に受講された方の中から、診断士試験に合格された方がいらっしゃいます。より良い講座運営を目指して取り組んでいきます。

以上の内容で平成30年度の研修委員会の活動を行ってまいります。セミナーや研究会の活動報告会の後には、懇親会等を企画し、会員の皆様の懇親も深めていただきたいと考えております。会員の皆様からの積極的なご参加をお待ちしております。ご都合をつけてぜひご参加ください。

【抱負】

準備した研修が、会員の皆様のお役に立てるよう委員会メンバーと企画立案していきたいと思っております。今後も会員の皆様からのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

研修委員会

担当理事

中村 公哉



本年、研修委員会理事として、診断実務講座の担当をさせていただきます。主として、企業内診断士の皆様、開業後間もない皆様の経験を積む場や、ポイントを得る場としてご活用いただければありがたいです。

7月から、長岡市内の着物販売ならびにレンタル業にご協力をお願いし、研修をスタートさせる予定であります。

着物レンタルにおいて、なし婚、家族婚というキーワードで示されるように需要の減少、卒業式などは、若者の着崩したスタイル（所謂おいらん）により、学校側から卒業式での着物の規制など、環境が急激に変化をしています。

ヒアリングを通して、どのような解決策を提案できるかが重要となります。

また、研修人数が多くなった場合、もうひとつの研修先の確保をしたいと考えております。

よろしくお願い致します。

実務研修のポイント

1. あくまでも研修の場ということを考え、自らの能力を伸ばすことを考える。
2. 実習先やステイクホルダーの批判はしない。
3. 具体的な提案を入れる。
4. 実現可能な提案を入れる。
5. あくまでも研修をさせていただいているという認識のもと、報告書の言葉に気を使う。

研修委員会

担当理事

浅田 淳



この度、昨年度に引き続き理事を務めさせていただきます浅田と申します。

私の役割としましては、主に研修委員会におきまして、中小企業診断士1次試験受験講座を担当いたします。

受験講座は、協会事業として開始してから5年が経ちます。主に、金融機関様向けの講座として始めましたが、徐々に一般企業へお勤めの方からの参加も増えてまいりました。過去には何名かの合格者を輩出し（「多くの合格者を・・・」と書きたいところですが、中小企業診断士試験は難易度が高く、一筋縄では合格できません！）、合格ののちに当協会にも入会いただいております。当講座は、講義回数を極力少なくすることで、要点を絞った講義とし、その他の時間を十分自習の時間に充てていただきながら効率の良い学習を進めることができる点が特徴となっております。中小企業診断士を目指している方がいらっしゃれば、9月に実施予定の受講ガイダンスへお誘いください。

ところで、せっかく試験に合格し、中小企業診断士登録をして協会にも入会したのに、協会活動へ参加されていない方が多くいらっしゃると思います。私は普段企業へ勤める企業内診断士ですが、特に私と同様に企業内診断士の方もぜひ協会活動へ参加していただきたいと思っております。活動を通じて得られる知識や気づきも多く、またたくさんの方の刺激を受けることができます。企業へお勤めの方は、どうしても自身の会社や業務の範囲に考え方や行動が限定されたり、交流できる相手も限られてしまいます。外へ出ることで多くの学びがあります。その一つの機会として、当協会の活動へ参加し、自身の成長につなげていただくと普段から思っております。

事業開発委員会

担当理事

委員長 和栗 聖



平素は、事業開発委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。中村前会長体制から引き続き事業開発委員長を務めさせていただきます。

事業開発委員会では、これまで中小企業診断士協会として多岐に亘る事業を実施しております。そのような事業活動を通して、協会会員同士の交流やスキルアップが図られる機会提供を行ってきました。本年度においてもこれまで以上に協会事業の深堀および新規事業の受託に向けて活動していきます。

<委員会方針>

事業開発委員会は、外部機関との連携を図り、当協会の事業の開発および発展を担ってまいります。

本年度は事業開発委員会として以下の事業に取り組んでまいります。

- ① 既存外部連携機関からの受託事業の継続および新規事業の開拓を図る。
- ② 金融機関、中小企業支援機関、自治体を対象としたセミナーや支援メニューの提案を行い、新たな外部機関との関係構築を図る。
- ③ 経営革新等支援機関として経営改善計画策定事業の拡充を図る。

事業開発委員会は当協会の収益を担う重要な委員会であることを踏まえ、協会の安定的な運営に寄与していきます。

最後に事業開発委員会では一緒に活動をしていただける委員会メンバーを随時募集しています。事業開発委員会にご興味のある方はぜひご参加をお待ちしております。

事業開発委員会
担当理事
渡邊 重仁



前期2年に引き続きまして、事業開発委員会担当の理事を拝命しました渡邊重仁（わたなべしげひと）と申します。

昨年は、商工会・商工会議所の経営指導員向けの見習研修の運営を主として行っておりました。昨年度の見習研修では計6名の協会会員に講師をお願いし、座学や実際の企業診断の研修を実施致しました。事業開発委員会からは様々な研修講師などの依頼があることがありますので、ご興味のある方はぜひ積極的にご連絡ください。

平成26年に診断士登録をし、今年で4年目となりました。協会の様々な活動に取り組みさせていただきながら、貴重な経験を積む機会を与えていただいていると感じております。まだまだ若輩者ですが、協会会員の皆様にとって魅力のある協会となるよう、精一杯頑張ったいと思います。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

広報委員会
担当理事
委員長 佐野 盛也



この度、一般社団法人新潟県中小企業診断士協会の理事、広報委員長を拝命しました佐野盛也と申します。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

協会の基本方針である、

- (1) 会員の協会活動の参加促進
- (2) 会員のコンサルティング能力の向上
- (3) 外部機関・他団体との連携強化
- (4) 中小企業診断士並びに新潟県協会の認知度向上
- (5) 財務基盤の強化

に資するよう理事として広報委員長として役割を果たしていきたいと考えております。

本年度の広報委員会は、「外部関係者に対し、協会活動並びに協会会員の情報発信を進めることにより、中小企業診断士の認知度向上を図る」、「協会会員に対し、協会活動の他、診断士活動に関する有益な情報を提供することにより、協会会員の資質向上に寄与する」の2点を活動方針としており、取り組みとしては、以下を行います。

- 会報の内容の充実
- ホームページによる情報発信の強化
- プレス活用による情報発信
- 会員名簿のリニューアル

広報誌に関しては、協会活動報告、会員の動向、その時々でタイムリーな内容を特集記事としていきます。また、知りたい情報、役に立つ情報をお届けできるよう努めてまいります。

広報誌は、会員の皆様のご協力により成り立っております。執筆依頼など、何かとお願いさせて頂くこともあると思いますが、何卒、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

新監事紹介

広報委員会 担当理事 長谷川 貴一



この度、一般社団法人新潟県中小企業診断士協会の理事を務めさせていただくことになりました長谷川と申します。皆さまどうぞよろしく申し上げます。4年ほど前に、診断士として登録され、

当協会に入会いたしました。これまで、広報委員会に所属しながら青年部の活動を行ってまいりましたが、お声がけをいただき初めて理事を担当させていただくこととなりました。

私は普段、社業であるOA機器販売やシステム構築などを行っている会社にて営業マンとして働いております。そのため、プロの診断士として活躍され豊富な経験を積まれている他の理事の皆様と比べて診断士としての経験はほとんどありません。お声掛けいただいた際は、理事という役職が私で務まるものなのか不安もございました。ただし、責任のある協会の理事に就任することになったご縁を大切に、日々勉強しながら少しでも協会の発展のためになれるよう努力していきたいと思っております。

入会してから委員会活動にあまり参加できなかった時期もあり協会の方でも知らない方も多くいらっしゃると思います。少しでも多くの活動に参加しながら会員の皆様と交流を持ち、諸先輩方から多くのことを学び、協会の発展に貢献していきたいと思っております。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

監事 武藤 勝行



平成30年度、平成31年度の2年間、監事をさせていただくことになりました武藤勝行です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は平成8年4月に中小企業診断協会新潟県支部に入会させていただき、今年で

23年目になります。振り返ってみますと、「あつという間」の22年でした。「少年老い易く学成り難し」は、私ひとりのためにあるような言葉です。

さて、私のクライアント企業の社長室にこんな言葉が書いてあります。「一生学習、一生挑戦、一生謙虚」。最初にこれを見たとき「こういう生き方もあるのか」と強い衝撃を受けました。私はすでに65歳を過ぎて老人の仲間入りをしております。最近、登山に出かけますと体力の衰えも感じるようになりました。しかし、健康なうちは「挑戦し続ける精神」を忘れないようにしたいと思っております。

「あつという間の22年」と書きましたが、この間「ほんの少し」農業経営の勉強をしました。なぜ「農業経営」を選んだのか、と言いますと中小企業診断士は誰もやっていたいなかったからです。若い方へ提案ですが、新しい分野への進出は多少苦労をとまいますが、面白さでいっぱいです。

一つのことには一生懸命に取り組むと周りから情報が集まります。情報が集まるとそこに行けばよい情報が得られるかもしれないと人は思うから、また情報が集まります。人と情報は集まるところに集まるのではないのでしょうか。

最後に、今後2年間監事の仕事をさせていただきます。新潟県中小企業診断士協会は、若い理事の皆様でいっぱいになりました。体力、アイデア、活力に満ちています。若い人が活躍できる雰囲気づくりに、監事として謙虚に挑戦したいと思います。

研究会紹介

監事

辰喜 太輔



この度、平成30年度より監事を仰せつかりました辰喜太輔です。どうぞよろしく申し上げます。

私は現在、五泉市で税理士業務を中心に日常業務を行っております。中小企業診断士としては認定支援機関として経営改善支援センター事業の利用や金融機関からの借入れに際し、経営計画書の作成支援等を主に行っています。また最近では事業承継の場面において診断士としての知識が非常に役立っています。後継者がいない中小零細企業において一昔前であれば廃業という選択肢しかなかったものがM&Aが当たり前のようになってきており、相談機会が非常に増えてきています。

私が診断士として登録したのが平成17年3月ですので、早13年が経ちました。新潟県診断士協会に入会した当初はまだ30代半ばで、多くの先輩診断士の先生方から研究会等で多くのことを教えていただいたものです。それから多くの若い方たちが診断士登録され、プロコンそして協会の役員としても活躍されており、とても感慨深いものがあります。私自身は協会の役員をさせていただくのは今回が初めてとなります。6年前に新潟県協会が任意団体から一般社団法人へと法人化にあたり特別委員会の委員として定款や各種規程の作成に関わらせていただいたこともあって今回、お話を頂いたものと受け止めています。しかしながら一度決めたものであっても組織は生き物でもありますので環境変化のなかで協会運営も時代とともに変わっていく必要があるのだと思います。診断士協会および協会会員一人ひとりのために今後どうあるべきかを理事の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

私が診断士として登録したのが平成17年3月ですので、早13年が経ちました。新潟県診断士協会に入会した当初はまだ30代半ばで、多くの先輩診断士の先生方から研究会等で多くのことを教えていただいたものです。それから多くの若い方たちが診断士登録され、プロコンそして協会の役員としても活躍されており、とても感慨深いものがあります。私自身は協会の役員をさせていただくのは今回が初めてとなります。6年前に新潟県協会が任意団体から一般社団法人へと法人化にあたり特別委員会の委員として定款や各種規程の作成に関わらせていただいたこともあって今回、お話を頂いたものと受け止めています。しかしながら一度決めたものであっても組織は生き物でもありますので環境変化のなかで協会運営も時代とともに変わっていく必要があるのだと思います。診断士協会および協会会員一人ひとりのために今後どうあるべきかを理事の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

企業再生支援研究会

代表 渡邊 重仁



中小企業診断士として、また税理士として、様々な業種の企業を支援させていただいておりますが、もちろん業績が良い会社ばかりではなく、赤字続きで資金繰りに難があり、借入に頼らざるを得ないような会社も多く見えています。

さらに、人口減少に伴う人材不足や高齢化、国際的な競争の激化やIT、AIなどの技術の急速な進歩等による経営環境の変化の早さ・不安定さは中小企業経営の難しさに拍車をかけており、中小企業の支援者である我々中小企業診断士の必要性が日々増してきているように感じております。

企業再生支援研究会では、協会会員の企業再生支援に関するノウハウ・知識向上に資するセミナー等を行うことを主な活動内容としています。具体的には、会員による中小企業の再生支援の現場の事例発表です。会員同士での情報交換を通じて企業再生に関わる様々な課題の討議を通じたコンサルティングスキルの向上を図るほか、実務担当者間での人脈形成の場を提供することを目的としております。

今年度も年3回の研究会開催を目的としております。日程・内容等については研究会会員のみならず、広く会員の皆様へ向けにご案内させていただきますので、今まで参加されたことのない方でもお気軽にご参加ください。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

青年部紹介

青年部

部長 長谷川 貴一



この度、一般社団法人新潟県中小企業診断士協会の理事を務めさせていただくことになりました長谷川と申します。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。昨年担当していました青年部の部長に就任させていただくことになりました。

青年部は会員相互の交流や情報交換をすることを目的とし、2ヶ月に1回程度、勉強会や意見交換会、会合などを開催する部です。

昨年は、なかなか委員会活動などに参加できない方や企業内診断士などで診断士経験が少ない方、診断士資格を取得したての方などが参加し、気軽に情報交換を行うことで、協会活動の理解を深めたり、会員相互の交流を行ったりすることができました。

本年度も同様に、気軽に参加でき会員相互が交流できる場を多く提供していきたいと思っております。

まだ、第1回の開催時期等は未定ですが、皆様に積極的に参加していただけるような楽しい設えなども含めて、年間を通して様々な企画をしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

事業承継研究会

代表 土田 正憲

事業承継研究会は、中小企業診断士の事業承継におけるコンサルティングスキルの向上と職域の開拓を目的に平成25年に設立されました。現在、約40名の会員が所属しています。

昨年度の開催実績は以下のとおりです。

改正事業承継ガイドラインの解説

(独) 中小企業基盤整備機構 関東本部

事業承継コーディネーター 渡辺政之氏

新潟県事業引継ぎ支援センターの取り組みについて

新潟県事業引継ぎ支援センター

統括責任者 畠山 満氏

後継者問題の事例に学ぶ『中小企業M&A活用法』

(株) ストライク 業務推進部

会計事務所担当部長 中村大相氏



今年度は事業承継税制が大きく改正されたほか、県の事業承継ネットワークが立ち上がります。これまで以上に中小企業診断士の事業承継支援における活躍が期待される場所です。

当研究会は会員発表と外部講師によるセミナーで学びます。また、研究会は懇親会とセット。今年度はこれまで以上に楽しい研究会を開催していきます。ご興味のある方は土田までお気軽にご連絡ください。

近況報告

平成30年5月26日（土）午後4時から新潟グランドホテルにて一般社団法人新潟県中小企業診断士協会「第6回定時社員総会」が開催されました。

総会では、「第1号議案 第6期計算書類承認の件」、「第2号議案 理事14名選任の件」、「第3号議案 監事2名選任の件」について審議が行われ、承認可決されました。

その後、永年表彰が行われ当協会の活動に永年にわたり貢献されている中村公哉会員に表彰状の授与と記念品の贈呈が行われました。

本総会により新理事が選任され、新理事の互選により土田正憲理事を代表理事とした新体制がスタートしましたことをご報告申し上げます。



所信表明される土田正憲新会長



第6回定時社員総会で挨拶される中村公哉前会長



総会後の懇親会



永年表彰により表彰状の授与と記念品を贈答される中村公哉会員

広報委員会より

クリップボード

- ◆平成30年9月1日（土）
理論政策更新研修
於：新潟グランドホテル

編集後記

広報委員会

佐野 盛也

土田正憲会長のもと、新体制がスタートしました。土田会長が掲げる【充実した「中小企業診断士ライフ」】という言葉は、皆様にはどのように響き、どのような将来像をイメージされましたでしょうか？

私は、この言葉に触れた時、自分にとっての【充実した「中小企業診断士ライフ」】って何だろう？と、ふと考えてしまいました。中小企業診断士として仕事をし、8年が経とうとしていますが、本当のところ、あまり考えたことがなかったからです。

中小企業診断士という資格、職責に誇りを持ちながら仕事をしていきたいという想いは持っているものの、【充実】とはどういう状態のことなのだろうか。

とても良い機会を頂いたと思っています。自分にとっての【充実した「中小企業診断士ライフ」】の定義をしっかりと考え、日々の仕事や生活の見直しをしてみたいなと思いました。皆様はいかがですか？

広報委員会といたしましては、協会活動、協会員の活動にフォーカスし、会員の皆様が興味深く読める広報誌の作成を目指していきます。

次号以降、様々な企画を検討していきたいと思っています。会員の皆様には、ご寄稿のお願いをすることもありますが、何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

また、企画に関してご要望等ございましたら、お気軽にお申し付け頂ければ幸いです。